

令和7年度企画展

吉村昭と「文学者」



Yoshimura Shiro

文学者

二五〇号記念特号

六月号

Nova Future



気持ちが届することもなく
小説を書きつづけてこられたのは、
「文学者」が
この世に存在していたから



Yoshimura Shiro
Junnosuke

Setsuichi Yukawa



Ota Jiro



Ishikawa Toshimitsu

令和7年

8/9^土 ▶ 10/3^金

開館時間 — 9:00~20:30

休館日 — 8/21^木・9/5^金・9/18^木

会場 — ゆいの森あらかわ 3階 企画展示室

入館料
無料

吉村昭記念文学館



写真左上：写真提供／文藝春秋 写真右下：写真提供／中野区立中央図書館
引用：吉村昭「最後の編集」（『文学者』第17巻第4号 昭和49年4月）

昭和28年(1953)に津村節子と結婚した吉村昭(1927～2006)は、同人雑誌へ作品を発表しながら、会社で働き、小説家として身を立てることを目指していました。いくつかの同人雑誌への参加を繰り返す中で、「文学者」に惹かれ、東中野のレストラン「モナミ」で開催されていた月例会に参加し、入会を決めます。津村とともに執筆に励み、丹羽文雄、石川利光、小田仁二郎、瀬戸内寂聴をはじめ多くの小説家と出会いました。

「文学者」60号には初めて吉村の短篇「青い骨」

が掲載され、復刊後には、発表した「鉄橋」「透明標本」が芥川賞候補になり、計4度の候補になりました。昭和37年(1962)からは編集委員としても雑誌を支えました。

本展では、吉村昭にとって同人雑誌「文学者」とはどのような存在であったかを掘り下げていきます。また「文学者」で出会った小説家の中から、特に吉村・津村の恩師とも言える丹羽、当館「友の会」発起人であり、「文学者」休刊の際、ともに同人雑誌「Z」へ参加した瀬戸内について、ゆかりの資料を通してご紹介します。



『私の文学漂流』
平成4年(1992) 新潮社
同士である妻と逆境を乗り越え、
太宰治賞を受賞するまでの軌跡を
率直に綴った半生の記。



吉村昭と津村節子
昭和40年(1965)
写真提供：文藝春秋



丹羽文雄(1904～2005)
昭和27年(1952)
写真提供：四日市市立博物館



瀬戸内寂聴(1922～2021)
平成29年(2017)



同人雑誌「文学者」第1号～第64号
昭和25～30年(1950～1955)
武蔵野大学図書館蔵、2・4・13・22・50号は当館蔵

イベント情報

1 朗読

神尾晋一郎が読む「私の文学漂流」「少女架刑」

同人雑誌「文学者」「Z」をはじめ、吉村昭・津村節子が同人誌を舞台に執筆活動をしていた時代を中心に『私の文学漂流』と、「文学者」にも発表した『少女架刑』を朗読していただきます。朗読後のトーク(15分程度)では作品の感想などを伺います。



神尾 晋一郎

北海道出身、81プロデュース所属。
主な出演作は、アニメ「ヒップホップマイク -Alternative Rap Battle-」(毒島メイソン理鸞役)、「あんさんぶるスターズ!」(鬼龍紅郎役)、「青の祓魔師 終夜篇」(エレミヤ・ウザイ役)、「BULLET/BULLET(バレット/バレット)」(天魁羅寿司丸役)、映画「THE FIRST SLAM DUNK」(流川楓役)、映画「七つの大罪 光に呪われし者たち」(ダブズ役)など多数。そのほかNHK「世界はほいモノにあふれてる」をはじめナレーターとしても活躍。DJとしての活動や、朗読劇など多くの舞台作品でも活動している。

- 出演：神尾晋一郎氏(声優)
- 朗読作品：①吉村昭『私の文学漂流』(平成7年 新潮文庫)より
②吉村昭『少女架刑』(平成30年 中公文庫)より
- 日時：9月28日(日)14時～15時30分(開場13時30分)
- 会場：ゆいの森あらかわ1階 ゆいの森ホール
- 参加費：無料 ● 定員：120名 応募者多数の場合抽選。
※抽選結果は、メールまたはハガキでお知らせします。
- 申込期間：7月21日(月・祝)から8月31日(日)まで



2 ワークショップ

インクと光と 万年筆のひみつ ～吉村昭が愛した 道具を科学で探ろう～

みなさんは万年筆の仕組みを知っていますか？
吉村昭が愛用していた「万年筆」について学びながら、色々な「伝える道具や技術」について、体験してみよう。インクや光にどんなひみつがあるのか、実際に見て、考えてみよう。

- 日時：8月30日(土)14時30分～15時30分
- 会場：ゆいの森あらかわ2階ワークショップルーム
- 参加費：無料
- 定員：20名(先着)
- 対象学年：小学3～6年生
- 申込期間：8月11日(月・祝)～(定員になり次第締め切ります)

申込み方法

受付

- ゆいの森あらかわ1階総合カウンター
- ゆいの森あらかわHP「イベント」欄から
<https://www.yuinomori.city.arakawa.tokyo.jp/>
- FAX(03-3802-4350)

必須事項

- ①参加者氏名(2名まで)、
代表者の郵便番号、住所、電話番号。
- ②ワークショップのみ学年を明記してください。



ゆいの森あらかわHP



【交通アクセス】

- 都電荒川線(東京さくらトラム)
荒川二丁目(ゆいの森あらかわ前)
下車徒歩1分
- 東京メトロ千代田線・京成線
町屋駅
下車徒歩8分
- コミュニティバス「さくら」
ゆいの森あらかわ下車(土日祝のみ)

〒116-0002
東京都荒川区荒川二丁目50番1号(ゆいの森あらかわ内)
TEL 03-3891-4349
FAX 03-3802-4350
<https://www.yoshimurabungakukan.city.arakawa.tokyo.jp/>

吉村昭記念文学館